

2015.07.26

福岡市西区・今津干潟のハマボウ、ハクセンシオマネキ

今山 81m



この水路の両サイドにハマボウが咲く

毘沙門山 (びしゃもんやま)
177m

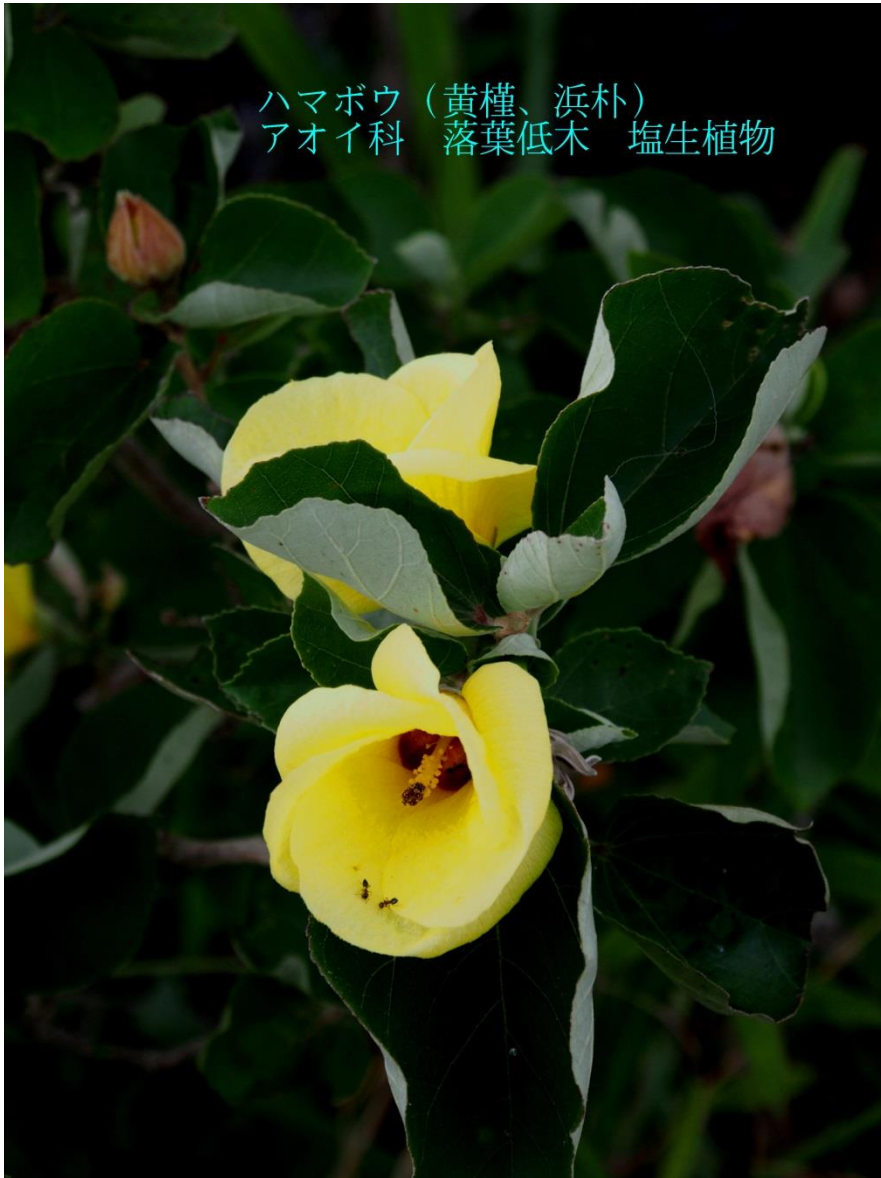


毘沙門山 (びしゃもんやま)
177m→

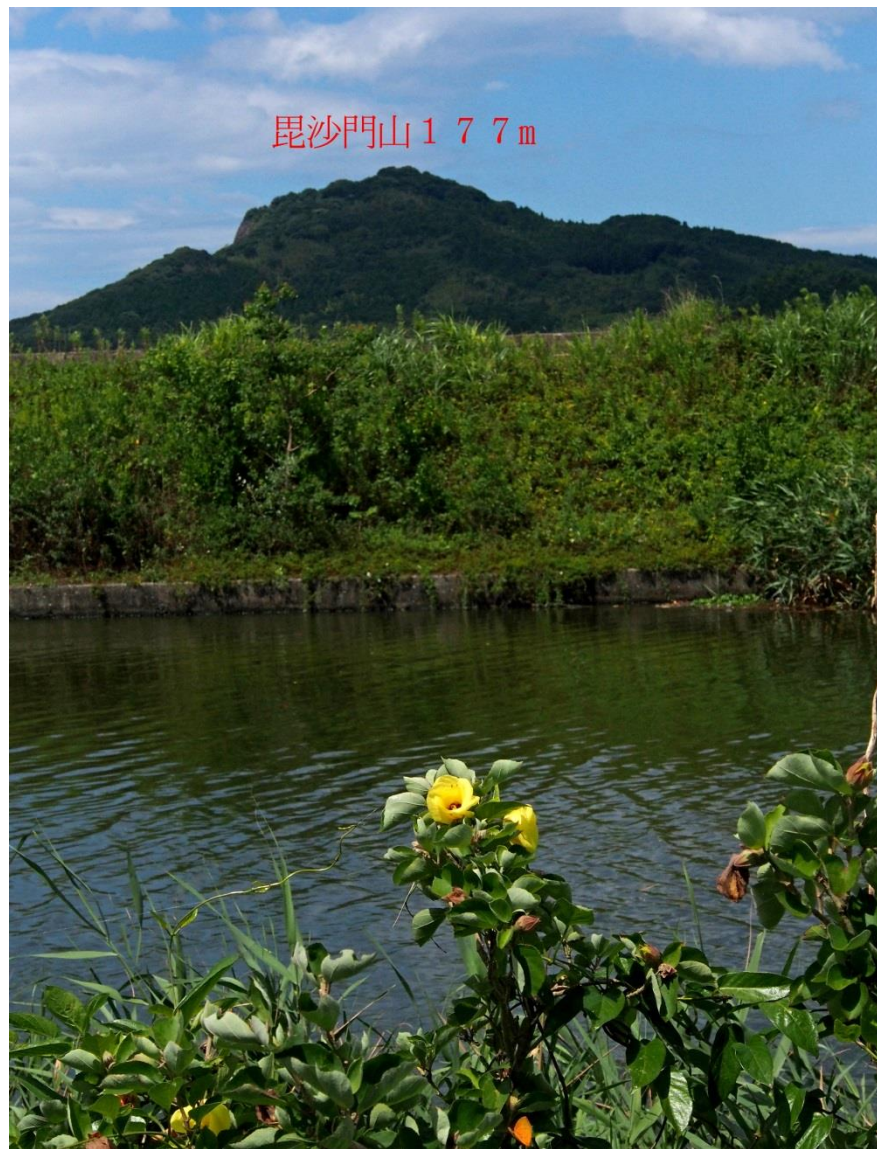


日本の本州南部，四国，九州，琉球原産のアオイ科の低木で，ときに観賞用に庭園に植えられるほか，防潮林とされる。高さ3～5mになり，若枝，若葉に絹毛を有する。葉は円形から心臓形で，フヨウよりも小さく，先端はとがる。（出典：世界大百科事典 第2版）

ハマボウ（黄槿、浜朴）
アオイ科 落葉低木 塩生植物



アオイ科の落葉低木で、神奈川県以西、四国、九州、沖縄にかけての海岸に生える。
高さ2~3mである。葉は円形で厚く、長さ5cm内外で葉柄がある。夏に、
上部の枝の葉腋に1個の黄色花をつける。(出典:ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典)







ハマボウ（黄槿、浜朴） アオイ科 落葉低木 塩生植物



ハマボウと毘沙門山（びしゃもんやま）177m

今山 8.1 m





今山 81m

ハマボウ (黄槿、浜朴)







カラスウリ（烏瓜）ウリ科



シロバナサクラタデ（白花桜蓼）
タデ科



ガマ（蒲、香蒲.） ガマ科



アオサギ（蒼鷺） サギ科 L=93cm



ミサゴ（鵟） ワシタカ科 L=メス64cm



ハクセシシオマネキ (白扇潮招)
スナガニ科



ハタセンシオマネキ（白扇潮招） スナガニ科





ハス（蓮） ハス科

